

読書活動と学力

家庭における読書環境は多様で、小学校生活のスタートの段階で、読書経験の格差が大きいと感じています。幼児期からたくさんの本に触れ、そのおもしろさを知った上で好んで読書をする子もいれば、家に本がなく、図書館に行く習慣もないといった状況の子もいます。その格差を是正すべく、図書室ではさまざまなイベントを通して、全児童が読書に親しめるよう日々取り組んでいます。

読書と学力の関連性については、さまざまな考え方がありますが、「読む」という行為は、すべての教科において、学習の基盤となります。文部科学省の委託を受け、静岡大学が行った研究（※1）では、読書が学力に及ぼす影響について示されています。研究報告によると、読書好きな子の学力は、そうでない子よりも高い傾向にあります。長時間の読書は必ずしも学力の高さには結びつかないことも述べられています（最も学力が高い層の平日読書時間は10分以上、2時間未満）。

また、読解力を上げるためには、読書に費やす時間よりも、楽しみで本を読んでいるかどうか重要であるという研究報告もあります。（※2）

児童が読書習慣を身につけるには、学校だけでなく、家庭で過ごす時間も大切です。好きな本を好きな人と一緒に楽しむ体験から、「読書は楽しい」という気持ちが生まれます。ぜひ、家庭で「読む」ことはおもしろい、楽しいと思えるような体験をさせてあげてください。

※1「静岡大学（2009）,学力調査を活用した専門的な課題調査に関する調査研究 C.読書 活動と学力・学習状況の関係に関する調査研究」

※2「OECD（2009）,PISA（学習達成度調査）」

（選書にあたって）

昔から読み継がれている本や、毎月大量に出版される新刊など、その膨大な量の中から1冊を選ぶ作業は大変なことです。今回、「司書がすすめる102冊」をリストアップしました。選書にあたって、みなさんにいろいろな本と出合ってほしいと思い、次のことを心がけました。

- ・全国学校図書館協議会の選定図書になっているものの中から、出版されてからあまり年数がたっていないものを選びました。
- ・すでに教科書で紹介されている本や、石川県の優良図書になっている本はできるだけ入れないようにしました。

本選びの際、このリストご活用いただけると嬉しいです。